

令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 福島県 】

学校名【 郡山市立緑ヶ丘第一小学校 】

1 実践テーマ	V
2 実施対象者 (学年・人数)	第6学年児童 102名、 教職員 5名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (体育科) ② 行事名 () ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	○集中力や投球技術、戦略性、チームワークが必要とされるパラリンピック種目ボッチャを体験する活動を通して、スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成を図る。
5 取組内容	○ボッチャを体験しよう 講師：丸山内 雄大氏 コロナ感染症拡大防止により、Zoom を活用して、体育館にスクリーンを設置し、映像による講師の説明を聞きながら、グループ対抗によるボッチャ競技を体験した。
	   

	
<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ボッチャを体験することによって、パラリンピックについて興味・関心を持つことができた。 ○ボッチャの魅力でもある「誰でもできるスポーツ」を体感することができ、障害がある人でも、道具を使ったり、アシスタントが参加したりすることによって、スポーツができることを知ることができた。 ○またやりたいという児童が多かったため、後日、ボッチャを体育に取り入れたところ、集中力や投球技術、戦略性、チームワークが必要とされるボッチャの魅力を感じながら楽しむことができる児童が増えた。
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○コロナ感染症拡大防止に向け、密を避けるため、6年児童を2クラスずつの2回実施に分け、さらに講師には、Zoomを使ったリモートによる説明を行っていただきながら実践した。 ○パラリンピック種目を知る上で、ボッチャは6学年の発達段階にある児童にとってとても親しみやすいスポーツであり、チームワークの大切さにも触れることができる多くの良さを持つ教材であると言える。
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○児童の興味・関心を持続させるために、年間を見通した計画を立て、工夫を図りながら活動を行える機会を確保していかなければならない。 ○オリ・パラ教育を意識した教師によるカリキュラムマネジメントが児童のオリ・パラ教育への興味・関心を高める一歩となる。
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○オリ・パラ教育によって、児童のスポーツに対する興味関心を高め、スポーツを楽しむ心の育成を図っていきたい。